

平成27年度

も り
国有林の森林へようこそ



知床五湖から知床連山を望む



網走南部森林管理署

管理経営の基本は**公益的機能の増進**です

網走南部森林管理署は、北海道北東部のオホーツク海に面したオホーツク総合振興局管内の南側に位置し、東側は知床半島、南側は阿寒に接するまでの斜里町、清里町、小清水町、網走市、大空町、美幌町、津別町の1市6町にまたがる地域の国有林約14万ヘクタールを管轄しています。

管内の国有林には、知床国立公園、阿寒国立公園、網走国定公園、斜里岳道立自然公園に指定されている地域があり、小清水原生花園、神の子池、小清水高原、美幌峠、知床峠、斜里岳、羅臼岳などの風光明媚な観光地も数多くあります。また、知床半島地域には、世界自然遺産にも登録されている森林も含まれています。

このように、森林とのふれあい、生物多様性の保全、原始的な天然林の保全などに対する国民からの期待が高まっていることから、森林の公益的機能の維持増進を図るため森林の適切な管理・経営に努めています。

網走南部森林管理署管内図



機能類型にふさわしい 森林の取扱いを進めています

国有林では、公益的機能の増進を重視した管理経営を行うため、森林の重視すべき機能に応じて「水源涵養タイプ」、「自然維持タイプ」、「山地災害防止タイプ」、「森林空間利用タイプ」、「快適環境形成タイプ」の5つの機能類型に区分し、各機能の発揮を目的とした管理経営に努めています。

機能類型区分

森林施業の考え方

面積

<p>水源涵養タイプ 良質な水の安定供給など水源の涵養機能の発揮を第一とする森林</p>	<p>広葉樹の導入による育成複層林への誘導等を推進し、森林資源の有効活用にも配慮</p>	<p>76千ha(56%)</p>
<p>自然維持タイプ 原生的な森林生態系や希少な生物が生育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を第一とする森林</p>	<p>良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の生育や生息に適した森林の維持</p>	<p>39千ha(29%)</p>
<p>山地災害防止タイプ 山地災害の防止や土壌保全の機能を第一とする森林</p>	<p>木の根や表土の保全、下層植生の発達した森林の維持</p>	<p>15千ha(11%)</p>
<p>森林空間利用タイプ 保健、レクリエーション、文化機能の発揮を第一とする森林</p>	<p>保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林の維持と造成</p>	<p>6千ha(4%)</p>
<p>快適環境形成タイプ 騒音や粉塵等から地域の快適な環境を保全する機能の発揮を第一とする森林</p>	<p>汚染物質の高い吸着能力、抵抗性がある樹種から構成される森林の維持</p>	<p>—ha(—%)</p>
<p>管内国有林合計面積 136千ha</p>		

公益的機能の維持増進のために さまざまな取組みを進めています

保安林の整備

土砂の流出、崩壊の防備や水源の涵養が特に求められる森林(管内国有林の約8割)を「保安林」に指定し、良好な森林に整備しています。

これらの保安林内では、災害を防止するため、土砂の流出防止、崩壊地の植生を回復させる「治山事業」を実施しています。



地滑りを防止する山腹工事(ウトロ地区)



土砂の流出を防止する溪間工事(斜里地区)

レクリエーションの森の整備

四季折々の自然や心身の安らぎを味わうことができる森林を自然休養林などのレクリエーションの森として設定し、人と森林のふれあいの場を提供しています。

管内には19カ所、約7千haのレクリエーションの森があり、皆さんに親しまれています。



神の子池を訪れる利用者(青葉地区)



幻のポンポロ沼に映える羅臼岳(ウトロ地区)

保護林の指定

貴重な野生動植物が生息・生育する森林などを保護林として指定し、その森林の保護と保全に努めています。

管内の国有林においては、知床森林生態系保護地域をはじめ、林木遺伝資源保存林10カ所、植物群落保護林5カ所、特定動物生息地保護林3カ所、特定地理等保護林1カ所、郷土の森1カ所を指定しています。



知床森林生態系保護地域(ウトロ地区)



木禽岳アカエゾマツ植物群落保護林
(相生地区)



美咲地区特定動物生息地保護林
(斜里地区)



森林の整備と木材の安定供給

再生可能な資源である木材を循環的に利用するため、自然条件等を勘案しながら、伐採と植林を繰り返して、良質な木材を持続的、安定的に供給するよう努めています。



フォワーダへの木材の積み込み(清里地区)



土場に集積された間伐材(青葉地区)

流域を単位に**民有林行政と** **連携した取組みを進めています**

流域管理の推進

地域における適切な森林整備や森林・林業・木材産業の活性化を図るためには、流域を単位として民有林と国有林が協調しつつ、計画をたてて事業を進めていくことが重要です。

このため、民有林行政を担当する北海道や市町と連携して、流域の課題やニーズの的確な把握、森林計画等の策定のための意見調整などを進めています。

森林の現況

単位: ha、%

市町村	区域面積	森林面積			森林率	備考
		国有林	民有林	計		
斜里町	73,701	49,933	7,404	57,337	78	
清里町	40,273	27,482	1,272	28,754	71	
小清水町	28,704	11,144	2,941	14,085	49	
大空町	34,362	3,076	10,263	13,339	39	
網走市	47,100	6,703	10,052	16,755	36	
美幌町	43,836	10,016	17,132	27,148	62	
津別町	71,660	27,636	33,813	61,449	86	
計	339,636	135,990	82,877	218,867	64	

区域面積は「平成27年北海道統計書」、森林面積は「平成25年度北海道林業統計」による。

森林面積(国有林)は、森林管理局所管国有林及びその他国有林である。

流域森林・林業活性化協議会の取組み

民有林行政、国有林行政が連携して流域の森林の整備等を進めるために、関係者で「網走東部流域森林・林業活性化協議会」を設けています。

この協議会には、網走南部森林管理署のほか、オホーツク総合振興局、網走東部流域内の各市町をはじめ、多数の関係機関が参画して取組を進めています。

林政連絡会議の開催

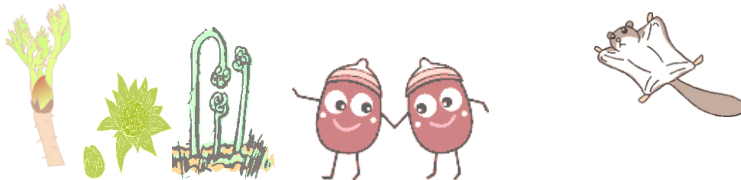
森林・林業・木材産業の諸課題に対応していくためには、双方向での情報共有に努めつつ、一層の連携を図っていくことが必要なことから、オホーツク総合振興局及びオホーツク地域に所在する4森林管理(支)署等において「オホーツク地域林政連絡調整会議」を設置しています。

市町村林政連絡会議の開催

地元意見を踏まえた国有林の管理・経営を図りつつ、地域の森林・林業・木材産業の再生に貢献していくため、網走南部森林管理署管内に所在する市町(1市6町)の林務担当者と定期的に会議を開催し、民有林行政関係者との意見交換や支援等に努めています。



市町村林政連絡会議の様子(当署会議室)



市町村森林整備計画への支援

地域の森林・林業・木材産業の活性化等について、長期的・広域的な視点に立って管内の民有林への技術的支援を実施していくため、「市町村森林整備計画実行管理推進チーム」等に当署職員(フォレスター)が参画し、これまで国有林野事業が培ってきた技術や知識に基づいた情報提供等を行っています。



市町村森林整備計画実行管理推進チーム会議
(網走市)



森林施業技術研修会(美幌町民有林)

「国民の森林」にふさわしい 開かれた管理経営を目指します

森林・林業に関する情報提供

国有林の管理経営に当たっては、「国民の森林」にふさわしい、国民の皆さんに開かれた管理経営を目指します。

このため、住民参加の森林づくりを進める一環として、地域の方々からの意見や要望を聴くための「意見交換会」を開催し、寄せられた意見等を施策へ反映させるよう努めています。



森林計画に関する地元意見交換会(北見市)



森林情報等の説明の様子(北見市)

森林・林業の普及啓発活動

網走南部森林管理署では、地域の皆さんとの共催による植樹祭や育樹祭などの緑化活動を通じて、森林・林業の普及啓発活動を進めています。



植樹風景(津別町植樹祭)



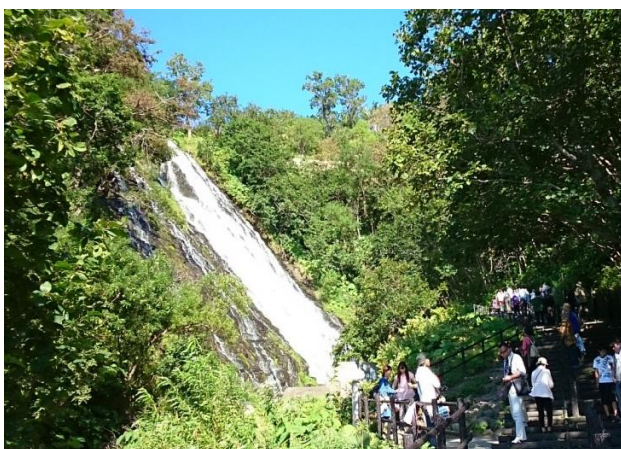
枝打ち体験(小清水町育樹祭)

森林にふれて緑と友達になってください

網走南部森林管理署では、優れた自然景観等を有し森林散策や自然観察、野外スポーツ等に適した森林を「レクリエーションの森」として設定(全19箇所)し、多くの方々に利用されています。

その主な森林について紹介します。

レク森林の種類	名称	面積
自然観察教育林	①知床、②木禽岳	1,562ha
森林スポーツ林	①みどり、②宇登呂、③知床	25ha
風景林	①美幌峠、②野上峠、③小清水峠、④原生花園、⑤裏摩周、⑥神の子池、⑦江鳶山、⑧男鹿の滝、⑨オシンコシン岬、⑩津別峠、⑪釧北峠	2,448ha
風致探勝林	①つべつ	372ha
自然休養林	①藻琴山、②網走	2,231ha
レクリエーションの森林面積合計		6,638ha

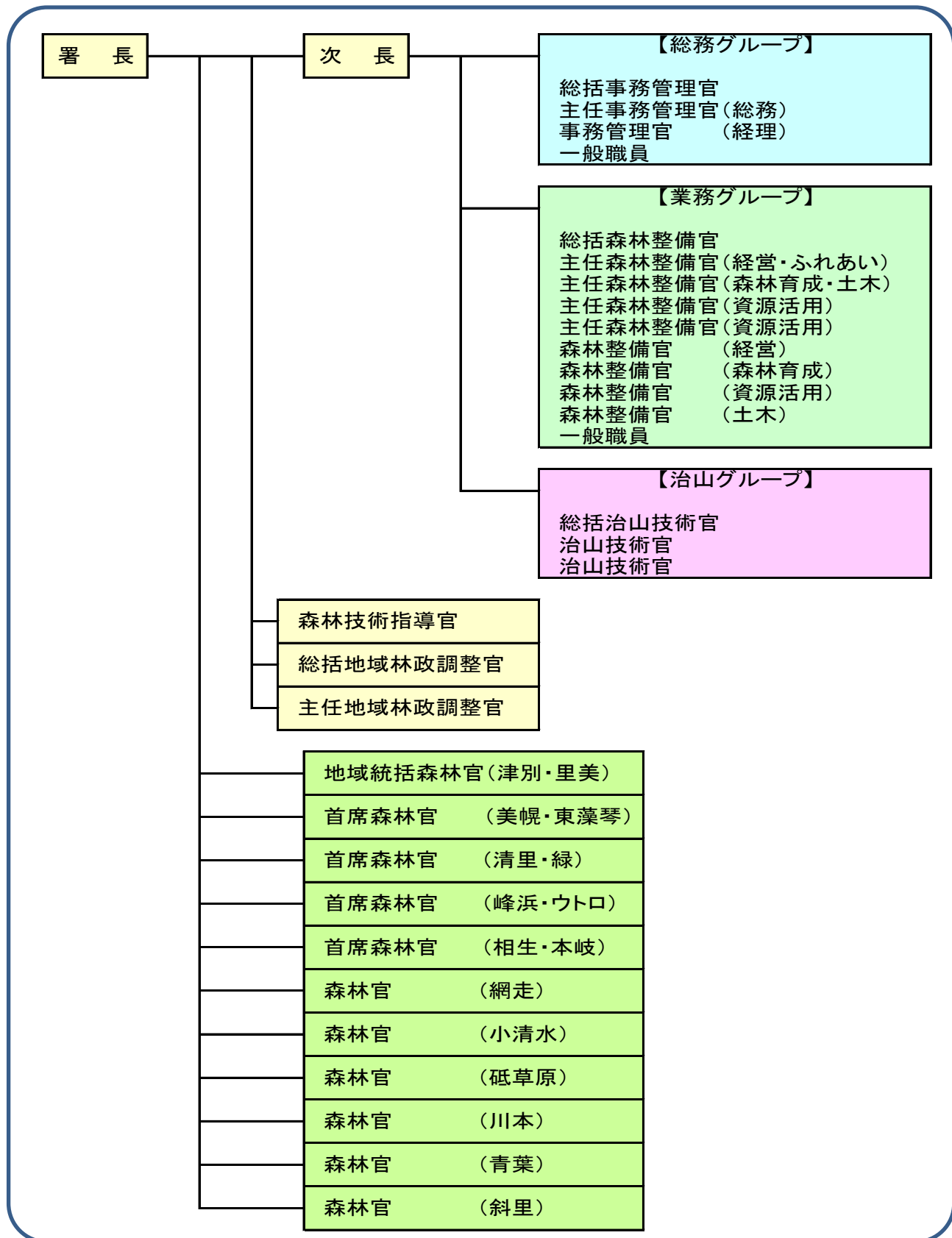


オシンコシン岬風景林



藻琴山自然休養林

網走南部森林管理署 組織図



網走南部森林管理署の沿革

明治41年	網走に網走営林区署が設置される。
大正 8 年	網走営林区署管轄に属し、野付牛・遠軽の二分署が設置される。
昭和 3 年	野付牛・遠軽の二分署は、それぞれ営林区署に改組分離され、網走営林区署は網走郡と斜里郡を管轄する。
昭和17年	斜里営林区署が分割設置される。
昭和22年	林政統一により北見営林局新設とともにその所管となり、営林区署は営林署と改称される。
昭和30年	上斜里営林署(旧清里営林署)を分割小清水が設置され、小清水町と清里町の一部を管轄する。
昭和37年	浦士別川流域の一部を分割し小清水営林署管轄とする。
平成 元 年	庶務課と経理課を統合し、総務課となる。
平成 6 年	標準2課制で、経営課と事業課を統合し業務課となる。
平成 7 年	網走営林署と小清水営林署を統合し網走営林署となる。それに伴い、網走営林署の所属組織として網走森林経営センターが設置される。
平成11年	国有林野事業改革における組織の再編に伴い、網走営林署が網走南部森林管理署となる。
平成13年	国有林野事業改革における組織の再編に伴い、清里事務所、網走森林経営センターを統合する。
平成16年	国有林野事業改革における組織の再編に伴い、津別事務所を統合する。
平成25年	一般会計化に伴う組織の再編に伴い、課を廃止しグループ制を導入する。



網走南部森林管理署庁舎(正面玄関側)

お問い合わせ・みどりの相談窓口



くらしを育む・国有林

網走南部森林管理

所在地 〒099-3632 斜里郡小清水町字小清水656-3
電話:0152-62-2211 FAX:0152-62-2213
IP電話:050-3160-5775

・網走森林事務所

所在地 〒093-0020 網走市南10条西2丁目
TEL:0152-61-0454 FAX:0152-43-0401

・東藻琴森林事務所(美幌・東藻琴)

所在地 〒099-3202 網走郡大空町東藻琴西倉
TEL:0152-66-2407 FAX:0152-66-2445

・小清水森林事務所

・砥草原森林事務所

所在地 〒099-3632 斜里郡小清水町字小清水656-3
TEL:0152-62-2840 FAX:0152-62-2213

・清里森林事務所(清里・緑)

・川本森林事務所

・青葉森林事務所

所在地 〒099-4405 斜里郡清里町羽衣町27-12
TEL:0152-25-3164 FAX:0152-25-3196

・斜里森林事務所

・峰浜森林事務所(峰浜・ウトロ)

所在地 〒099-4113 斜里郡斜里町本町11-1
TEL:0152-23-2417 FAX:0152-23-6357

・津別森林事務所(津別・里美)

・相生森林事務所(相生・本岐)

所在地 〒092-0233 網走郡津別町字柏町21-14
TEL:0152-76-3209 FAX:0152-76-3220
TEL:0152-76-3208